

問題【社会】

明治維新に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 明治政府が新しい政治の方針を示したものを何と言いますか。
- (2) 明治政府が藩主に土地と人民を返させたことを何と言いますか。
- (3) 満6歳以上の男女に小学校教育を受けさせることを定めたものを何と言いますか。
- (4) 1873年から実施された、土地や租税制度の改革を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

近代化へ相次ぐ改革

250年以上の長い江戸時代が終わって新たな時代、明治時代へ突入します。明治政府は欧米を参考にしながら色々な改革を進めていきます。明治政府はどのような国づくりを目指していったのかを一緒に確認していきましょう。

江戸時代は将軍を中心に統治を行っていましたが、大名は大名で軍を所有したり、独自にお金をつくる(藩札)など、地方にも権限が多くありました。これに対し明治政府は、欧米列強に対抗するためにも、「天皇を中心として日本が一つになる」という中央集権国家を目指します。そのためにまず、土地と人民を政府に返させる「版籍奉還」を行います。しかし、藩主はそのまま残っていて効果が薄かったので、藩を廃止して、中央から府知事や県令を派遣する「廃藩置県」を行います。これによって政府の指示が地方にまで行き届くようになっていきます。

廃藩置県のあとに、さらに近代化に向けた改革を行っていきます。まず1972年に「学制」を公布します。満6歳以上の男女には小学校に通うことを義務化するなど、各地に学校を設けます。小学校の通学率は30%前後~50%前後と高くはないですが、外国人講師の雇用や留学生の欧米派遣など、新しい知識や技術を積極的に取り入れる学校もありました。

次に政府は、国民を兵士にして近代的な軍隊を作ることを目指します。徴兵告諭を事前に出して国民に告知し、1973年に「徴兵令」を出します。満20歳以上の男子は兵役の義務を負うこととなります。ただし当初は、家を継ぐ者や代人料を納めた者は免除されるなどの規定もありました。

そして最後は税制改革です。改革をやるにも安定した税金が必要です。しかし、江戸時代の米を中心とした年貢では、天候によって年貢が減少することもあるなど税金が安定しません。そこで政府が実施したのが「地租改正」です。土地の所有者に地券を発行し、地価の3%を現金で納めさせるようにしたのです。これにより政府の税金が安定するようになります。しかし税率は低いわけではなく、各地で反対一揆も起こったことから1877年には3%から2.5%に税率を下げています。

【解答】

- (1) 文部省の参事 俣野 (3)
(2) 版籍奉還 蠶桑 (2) 徴兵令の参事 俣野 (1)
(4) 地租改正 蠶桑 (4)